

Beyond Limits. Unlock Our Potential.

～世界に伍するスタートアップエコシステムの拠点形成戦略～ 中間とりまとめ

平成31年3月

平井卓也内閣府特命担当大臣（科学技術政策）



課題：スタートアップをめぐる日本の現状

○開業率

開業率が低く、起業に無関心な人の割合が高い。

○ベンチャー投資

VC等によるベンチャー投資額は依然として少ない。

2017年： 9兆5,336億円 (米国) 8,140億円 (欧州)、
3兆3,630億円 (中国) 1,976億円 (日本)

ファンド組成額も依然として少ない。

2017年： 3兆6,790億円 (米国) 9,740億円 (欧州)、
5兆7,713億円 (中国) 1,953億円 (日本)

○成長企業創出

ユニコーン企業数が米国企業151社、中国企業82社、
などに対し、日本企業は1社のみ。 (2018.2末現在)

時価総額ランキングTop50のうち、米国企業31社、中国企業8社に対し、日本企業は1社のみ。

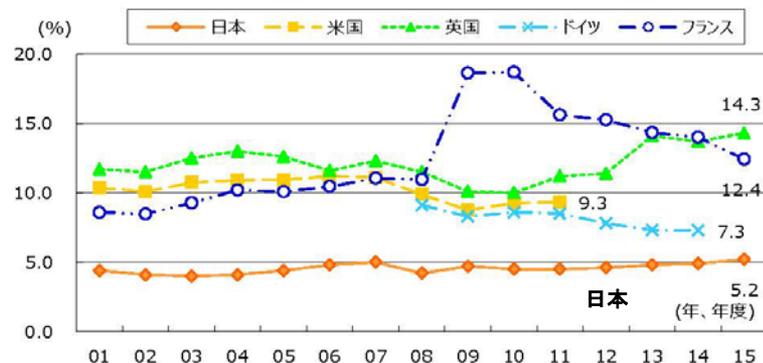
(米国はアルファベット、Amazon、Facebook、中国はアリババ、テンセントなど、プラットフォーマーが多くランク入り)

○エコシステム拠点形成

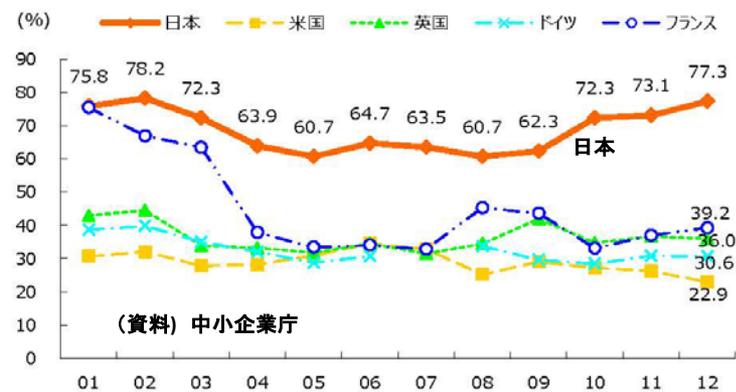
シリコンバレーのみならず、ニューヨーク、北京、上海などの都市の拠点形成が進展し、日本は周回遅れに。

米国のユニコーンの80%は都市型のスタートアップエコシステムから中国は83%。世界各地で同様の状況が進展。

開業率の国際比較



起業に無関心な人の割合



技術系ユニコーンの創出 (2009-2018)



HIRAI Pitch での指摘事項

創造する未来社会からバックキャスト的に新たなイノベーションを起こしていくため、大臣と産学官関係者との間で幅広い意見交換を行う懇談会を開催。30回を超える大臣室でのPitchや、福岡、大阪、つくば、渋谷、日本橋等の地域版Pitchで日本のスタートアップ・エコシステムに関して概ね次のような論点が指摘されている。

- エコシステムの拠点としての都市形成の視点が弱い
- 事業立ち上げを経営面で支援するアクセラレータの機能が弱い
- スタートアップの初期市場を創出できていない
- 人材の流動性が低くスタートアップの経営人材が不足
- 起業をはじめとする挑戦を是とする教育が不十分
- 事業立ち上げを支援するGAPファンドが不足
- 支援策や支援組織が縦割りでつながっていない



スタートアップ戦略の視点 “Beyond Limits. Unlock Our Potential.”

米国、中国はじめ世界のベンチャーエコシステムは都市を中心に激変、多数のユニコーンが創出されるなどベンチャーカンブリア紀が到来、日本の遅れが顕在化。

我が国は東京等の大都市、優秀な人材、卓越した研究開発力、技術力の高い大企業、豊富な資金を有するが、十分に活かすことができていないことが課題。

今後、都市や大学を巻き込み、世界を志向する起業家教育やアクセラレータ機能を抜本的に強化すること等を通じて、起業家がこれまでの制約を超越し(Beyond Limits)、日本の潜在能力を開放する(Unlock Our Potential)、スタートアップ・エコシステムを構築することが可能となる。

“Beyond Limits. Unlock Our Potential.”

戦略 1 : 世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市の形成

戦略 2 : 大学を中心としたエコシステム強化

戦略 3 : 世界と伍するアクセラレーション・プログラムの提供

戦略 4 : 技術開発型スタートアップの資金調達等促進 (Gap Fund)

戦略 5 : 政府、自治体がスタートアップの顧客となってチャレンジを推進

戦略 6 : エコシステムの「繋がり」形成の強化、気運の醸成

戦略 7 : 研究開発人材の流動化促進

戦略1：世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市の形成

○ 都市のスタートアップ・エコシステムの分析

- ・ エコシステムにおける“ギャップ”の調査分析（資金、ネットワーク、人材等で特定）
注）NYはエコシステム分析に基づいて人材・コミュニティづくりを抜本強化し、世界第2のスタートアップ都市に変貌

○ 拠点となる都市への集中支援

- ・ 政府横断的タスクフォースの設置（統合イノベーション戦略会議の創業TF活用）、都市の人材育成、サポートインフラ、ファンディング、コミュニティの各要素を支援

○ ランドマーク・プログラムの招致

- ・ 世界のベンチャー拠点機能・システム、世界的ピッチコンテスト等のイベントの誘致（自治体の外国企業・起業家の誘致活動と連携）
注）NYではCornell Techを招致。米国、ポルトガルはじめ各国においてピッチコンテストで世界から人材集め

○ 情報発信の強化、起業家VISA等の普及による起業家招致

- ・ 世界への情報発信の強化、起業家VISA普及による起業家・テック系人材招致



**City /
Community**

戦略2：大学を中心としたエコシステム強化

- **カリキュラム改革等による起業家教育プログラムの強化**
 - ・ カリキュラム改革の検討、EDGE NEXT、SCORE等のプログラムの強化
注) 中国(清華大学、北京大学等)ではカリキュラムを幅広く導入
- **大学教員等のキャパシティ・デベロップメント、外部人材の活用**
 - ・ 大学教員・研究者等のためのセミナー、経済団体との連携
注) 米国、スウェーデンの大学等との人材交流の促進等
中国では、米国等から教員を招へいし、トップレベルの教育を提供
- **学内・大学連携コンソーシアムのハッカソン、ブートキャンプ等の促進**
 - ・ 民間プログラムとの連携強化、地域のスタートアップ支援との連携
注) 清華大学では学内にPre及びQualityプログラムを完備、
スウェーデンはコンソーシアム型。ヘブライ大学は別法人型
- **初等中等教育段階における創業教育の支援**
 - ・ 小学校からの起業家教育を支援(民間プログラムとの連携等)



**Mindset /
Education**

戦略3：世界と伍するアクセラレーション・プログラムの提供

- **グローバルトップアクセラレータの招致**
 - ・ 定量的支援条件付き資金支援の検討、スペース紹介、ネットワーク支援等
- **分野毎のアクセラレーション・プログラムの強化・創設促進**
 - ・ S-Booster（宇宙分野）の強化、AI戦略、バイオ戦略等との連携
- **日本のアクセラレーション機能の強化**
 - ・ 日本のアクセラレータのレベルアップをするプログラムの創設（海外・民間との連携）



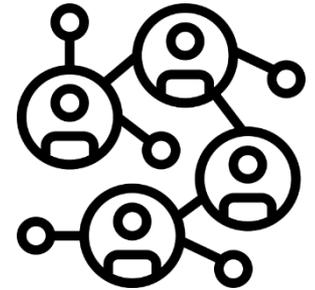
**Ignition/
Acceleration**

戦略4：技術開発型スタートアップの資金調達等促進（Gap Fund）

- **研究開発型ベンチャー支援事業の抜本強化**
 - ・ ファンディングエージェンシー等での大規模なGap Fund供給（イスラエル/シンガポール型の支援の拡充・横展開）
- **官民イノベーションプログラム、研究開発法人出資の強化**
 - ・ 大学ファンド、研究開発法人のVC業界との連携強化
- **政府が行っている研究開発プロジェクトの社会実装の促進**
 - ・ 研究開発プロジェクトの成果について、支援策やファンディングとの繋がりを強化

戦略5： 政府、自治体がスタートアップの顧客となってチャレンジを推進

- **内閣府Open Innovation Challenge の抜本的強化**
 - ・ 基本的に全省庁が参加しての課題解決公募、モデル調達プロジェクト
- **公共調達ガイドラインの実践**
 - ・ 情報発信、調達促進事業、入札要件等の特例の実践
- **地方自治体のスタートアップからの調達促進**
 - ・ トライアル発注制度等の活性化



**Procurement /
Connection**

戦略6： エコシステムの「繋がり」形成の強化、気運の醸成

- **オープンイノベーションの推進**
 - ・ オープンイノベーション推進組織の活動強化、オープンイノベーション機構の活用
(大学研究室や企業の研究者とスタートアップ・エコシステムとの繋がり作り)
- **機関横断的な創業支援システムの構築**
 - ・ 公的支援機関連携協定、公的機関と民間エコシステムビルダーのキーパーソンの繋がりづくり
(ファンディングエージェンシー等と民間VC等)
- **日本オープンイノベーション大賞の拡充**
 - ・ 参加省庁・団体の増加、PRの強化
- **各省庁、民間のスタートアップ関連イベントの連携強化**
 - ・ イベントの共同PR、開催時期調整、グローバルベンチャーサミット2020の準備

戦略7： 研究開発人材の流動化促進

- 人材流動化タスクフォース（民間HR企業等との連携委員会）の設置
 - ・ 研究開発型ベンチャーへの経営者人材の供給の抜本的な増加策を検討
- 人材流動化プロジェクト等の支援（出向、出島形成等）
 - ・ 民間のHR企業との連携プロジェクト等の検討と実施



Mobilization